

タイマーラッチ機能内蔵過電流検出IC②

時定数で検出時間を設定可能なローサイド過電流検出IC！

開発中
ESリリース中

RT8H030C

□概要

RT8H030Cは、負荷とGND間に接続する検出抵抗に流れる電流を検出し、過電流状態となれば異常を知らせる信号（High出力）を出力する回路となります。

タイマー回路を内蔵しており、外付け抵抗とコンデンサによる時定数で検出時間を設定する事が可能です。

本製品はRSラッチ回路を内蔵しておりタイマー時間以上の過電流を検出後にはH出力を保持します。ラッチ解除には、リセット端子に電圧を印加するか、VCCが低い時にはリセット信号を印加する仕様としておりますので、電源電圧を下げることで出力のラッチ状態を解除することも可能となっております。

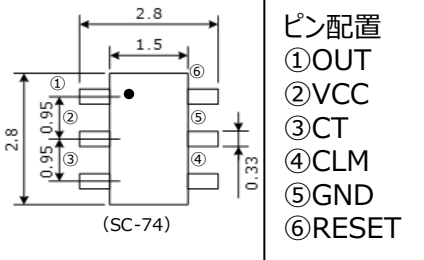
□特長

- ローサイド過電流検出
- 出力保持機能内蔵（リセット端子付）
- オープンコレクタ出力
- 初期リセット機能あり（VCCが低いときにリセット信号印加）
- タイマー機能内蔵
- 小型面実装パッケージ（SC-74；2.8mm×2.8mm）

□用途

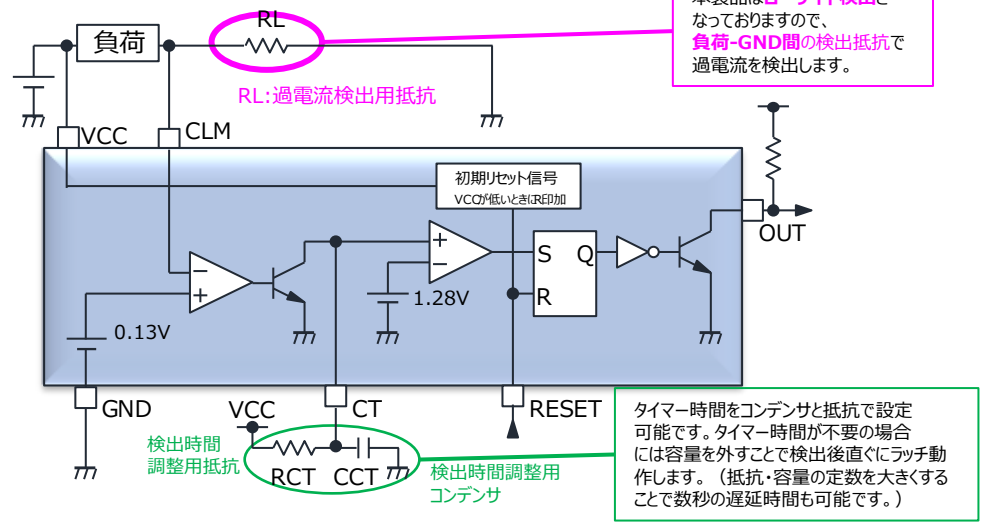
- 電源における過電流保護回路
- モーターの過電流保護回路

□外形図（単位：mm）



□過電流検出用IC応用回路例

<本製品：ローサイド検出型RT8H030Cの場合>



<ローサイド検出/ハイサイド検出の特徴>

	RT8H030C	RT8H010C
検出方法	ローサイド電流検出 負荷-GND間の抵抗で過電流検出	ハイサイド電流検出 VCC-負荷間の抵抗で過電流検出
メリット	・負荷の電源と別電源でICを動作させることで高電圧の電源を用いる負荷に対する過電流検出も可能 ・負荷の電源で発生するスパイクやサージを考慮しなくても良い	・GND電位に影響しない ・電源電圧の短絡電流を検出できる
デメリット	・ICのGNDと負荷のGND間で差分が発生 ・電源電圧の短絡電流は検出できない	・負荷の電源電圧が高い場合はGND電位を浮かせる必要がある（VCC-GND間32V定格） ・負荷の電源と共通の電源を使用するため電源で発生するスパイクやサージを考慮する必要がある

参考：MFTとは チラシ
(2次元バーコードからジャンプできます)



※RT8H030C/010Cをベースとしたカスタマイズ（MFT化）も可能ですので、ご用命の際はお気軽にお問い合わせください。

参考：RT8H010C チラシ
(2次元バーコードからジャンプできます)



過電流検出には **RT8H030C(ローサイド検出)/RT8H010C(ハイサイド検出)** をご検討ください！